
** ◇◆Systemwalker アクセス制御ポリシーテンプレート 説明書 (readme) ◆◆ **
** *****

■ 商標について

Microsoft、Windows、Windows NT、Windows Serverは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
UNIXは、X/Openカンパニーリミテッドが独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。
Systemwalkerは、富士通株式会社の登録商標です。
Linuxは、Linus Torvalds氏の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
Red Hat、RPMおよびRed Hatをベースとしたすべての商標とロゴは、Red Hat, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
その他、文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。
Oracle Solaris はSolaris, Solaris Operating System, Solaris OS と記載することがあります。
本文中の記載内容は予告なしに変更される場合があります。
本文中、Systemwalker Centric Manager、および、Systemwalker Operation Managerのエディション表記について、Standard Editionを“SE”、Enterprise Editionを“EE”、Global Enterprise Editionを“GEE”と略しています。Symfoware Serverのエディション表記について、Standard Editionを“SE”、Enterprise Editionを“EE”、Enterprise Extended Editionを“EEE”と略しています。また、Interstage Application Serverのエディション表記について、Standard-J Editionを“SE”、Enterprise Editionを“EE”と略しています。

Copyright FUJITSU LIMITED 2010

■ 本書の構成

1. Systemwalker アクセス制御ポリシーテンプレートの使用条件
2. Systemwalker アクセス制御ポリシーテンプレートの機能概要
3. Systemwalker アクセス制御ポリシーテンプレートのディレクトリ構成
4. Systemwalker アクセス制御ポリシーテンプレートの適用条件
5. Systemwalker アクセス制御ポリシーテンプレートの利用前の作業
6. Systemwalker サーバアクセス制御用テンプレート生成コマンドの使用方法
7. 留意事項
8. Systemwalker アクセス制御ポリシーテンプレートの削除方法
9. エラーメッセージ

1. Systemwalker アクセス制御ポリシーテンプレートの使用条件

本テンプレートのご使用にあたっては、下記のご使用条件をお守りください。

- ・本テンプレートの再配布はできません。
- ・本テンプレートに関するいかなる著作権表記も変更できません。
- ・本テンプレートの適用により損害が発生した場合、弊社は損害賠償等の責任を負いません。

2. Systemwalker アクセス制御ポリシーテンプレートの機能概要

Systemwalker アクセス制御ポリシーテンプレートは、以下を提供しています。

(1) サーバアクセス制御用テンプレート生成コマンド

Systemwalker Centric Managerのアクセス監査ログを取得するため、アクセス制御ポリシーファイル（テンプレートポリシーファイル）を生成します。
テンプレートポリシーファイルは、以下のソフトウェアの管理系コマンドの操作履歴を取得するため下記のコマンドの起動したアクセス監査ログを出力するアクセス制御ポリシーです。出力されたアクセス監査ログを管理/分析することにより、管理系コマンドの使用状況（予定にない操作が行われていないか）を確認したり、事後監査することができます。

本ポリシーテンプレートでサポートするソフトウェア

- ・ Systemwalker Centric Manager
 - Windows版 Systemwalker Centric Manager SE/EE V13.4.0
 - Windows for Intel64版 Systemwalker Centric Manager SE/EE V13.4.0/V13.4.0A
 - Windows for Itanium版 Systemwalker Centric Manager SE/EE V13.4.0
 - Linux版 Systemwalker Centric Manager SE/EE V13.4.0/V13.4.0A
 - Linux for Intel64版 Systemwalker Centric Manager SE/EE V13.4.0/V13.4.0A
 - Linux for Itanium版 Systemwalker Centric Manager SE/EE/GEE V13.4.0
- ・ Systemwalker Operation Manager
 - Windows版 Systemwalker Operation Manager SE/EE V13.4.0B
 - Windows for Intel64版 Systemwalker Operation Manager SE/EE V13.4.0B
 - Windows for Itanium版 Systemwalker Operation Manager SE/EE V13.4.0B
 - Linux版 Systemwalker Operation Manager SE/EE V13.4.0B
 - Linux for Intel64版 Systemwalker Operation Manager SE/EE V13.4.0B
 - Linux for Itanium版 Systemwalker Operation Manager SE/EE/GEE V13.4.0

- Symfoware Server
 - Windows版 Symfoware Server SE/EE V10.0.1
 - Windows for Intel64版 Symfoware Server SE/EE V10.0.1
 - Windows for Itanium版 Symfoware Server SE/EE V9.1.1
 - Linux版 Symfoware Server SE/EE V10.0.0A
 - Linux for Intel64版 Symfoware Server SE/EE V10.0.0A
 - Linux for Itanium版 Symfoware Server SE/EE V9.1.0
 - Linux for Itanium版 Symfoware Server EEE V9.2.0
- Interstage Application Server
 - Windows版 Interstage Application Server SE V9.2.0A
 - Windows版 Interstage Application Server EE V9.3.0
 - Windows for Intel64版 Interstage Application Server SE/EE V9.3.0
 - Windows for Itanium版 Interstage Application Server SE/EE V9.2.0
 - Linux版 Interstage Application Server SE V9.2.0
 - Linux版 Interstage Application Server EE V9.3.0
 - Linux for Intel64版 Interstage Application Server SE/EE V9.3.0
 - Linux for Itanium版 Interstage Application Server SE/EE V9.2.0

配付先サーバがWindowsの場合

- Systemwalker Centric Manager
 - サービス/デーモンの起動/停止コマンド (scentricmgr.exe/
pcentricmgr.exe)
 - バックアップ/リストアコマンド (mpbkc.exe/mpenvset.exe/mprsc.exe/
premprs.exe)
- Systemwalker Operation Manager
 - サービス/デーモンの起動/停止コマンド (soperationmgr.exe/
poperationmgr.exe)
 - バックアップ/リストアコマンド (mpbko.exe/mprso.exe)
- Symfoware Server
 - Symfoware/RDBの起動/停止コマンド (rdbstart.exe/rdbstop.exe)
 - バックアップ/リストアコマンド (rdbdmp.exe/rdbrcv.exe)
 - データベースのデータのファイルへの出力コマンド (rdbunl.exe)
 - 検索結果のファイルへの出力コマンド (rdbunlx.exe/rdbunlsql.exe)
- Interstage Application Server
 - サービス/デーモンの起動/停止コマンド (isstart.exe/isstop.exe)
 - ワークユニットの起動/停止コマンド (isstartwu.exe/isstartwu.exe)
 - イベントサービスの起動/停止用コマンド (esstart.exe/esstop.exe)
 - Webサーバサービスの起動/停止用コマンド (ihsstart.exe/ihsstop.exe)
 - Java EEサービスの起動/停止用コマンド (ijdasstart.exe/ijdasstop.exe
ijnastart.exe/ijnastop.exe/imqbrokerd.exe)
 - Interstage管理コンソール用Servletサービスの起動/停止
(jssvstart.exe/jssvstop.exe)
 - OTSサービス起動 (otsmngr.exe)
 - IJServerの資源のバックアップ/リストアコマンド (ijsbackup.exe/
ijsrestore.exe)
 - イベントサービスの資源のバックアップ/リストアコマンド
(esbackupsys.exe/esrestoresys.exe)
 - Interstage HTTP Serverの資源のバックアップ/リストアコマンド
(ihsbackup.exe/ihsrestore.exe)
 - Interstage ディレクトリサービスの資源のバックアップ/リストアコマン
ド (irepbacksys.exe/ireprests.sys.exe)
 - J2EE共通資源のバックアップ/リストアコマンド (j2eebackup.exe/
j2eerestore.exe)
 - Interstage JMSの資源のバックアップ/リストアコマンド (jmsbackup.exe/
jmsrestore.exe)
 - CORBAサービス資源ファイルのバックアップ/リストアコマンド
(odbackupsys.exe/odrestoresys.exe)
 - データベース連携サービスの資源のバックアップ/リストアコマンド
(otsbackupsys.exe/otsrestoresys.exe)
 - Interstage シングル・サインオンの資源のバックアップ/リストアコマン
ド (ssobackup.exe/ssorestore.exe)
 - Interstageセットアップ資源のバックアップ/リストアコマンド
(ischbackupsys.exe/iscrestoresys.exe)
 - Interstage管理コンソールの資源のバックアップ/リストアコマンド
(isguibackup.bat/isguirestore.bat)
 - 業務構成管理機能におけるリポジトリのバックアップ/リストアコマンド
(isrepbackup.bat/isreprestore.bat)
 - Java EEのバックアップ/リストアコマンド (ijbackup.bat/ijrestore.bat)
 - Interstage JMXサービスの資源のバックアップ/リストアコマンド
(isjmxbackup.bat/isjmxrestore.bat)

配付先サーバがLinuxの場合

- Systemwalker Centric Manager
 - サービス/デーモンの起動/停止コマンド (scentricmgr/pcentricmgr)
 - バックアップ/リストアコマンド (mpbkc/mprsc/premprs)

- Systemwalker Operation Manager
 - サービス/デーモンの起動/停止コマンド(soperationmgr/poperationmgr)
 - バックアップ/リストアコマンド(mpbko/mprso)
- Symfoware Server
 - Symfoware/RDBの起動/停止コマンド(rdbstart/rdbstop)
 - バックアップ/リストアコマンド(rdbdmp/rdbrcv)
 - データベースのデータのファイルへの出力コマンド(rdbunl)
 - 検索結果のファイルへの出力コマンド(rdbunlx/rdbunlsql)
- Interstage Application Server
 - Interstageの起動/停止用コマンド(isstart/isstop)
 - ワークユニットの起動/停止コマンド(isstartwu/isstartwu)
 - Fujitsu Enablerの起動コマンド(enablerstart)
 - イベントサービスの起動/停止用コマンド(esstart/esstop)
 - Webサービスの起動/停止用コマンド(ihsstart/ihsstop)
 - Interstage管理コンソールを使用するためのサービスの起動/停止コマンド(ismngconsolestart/ismngconsolestop)
 - リポジトリの起動/停止(irepstart/irepstop)
 - Java EEサービスの起動/停止用コマンド(ijdasstart/ijdasstop/ijnastart/ijnastop/imqbrokerd)
 - Interstage JMXサービスの起動/停止コマンド(isjmxstart/isjmxstop)
 - Interstage管理コンソール用Servletサービスの起動/停止(jssvstart/jssvstop)
 - IJServerの資源のバックアップ/リストアコマンド(ijsbackup/ijsrestore)
 - イベントサービスの資源のバックアップ/リストアコマンド(esbackupsys/esrestoresys)
 - Interstage HTTP Serverの資源のバックアップ/リストアコマンド(ihsbackup/ihsrestore)
 - Interstage ディレクトリサービスの資源のバックアップ/リストアコマンド(irepbacksys/ireprestsys)
 - J2EE共通資源のバックアップ/リストアコマンド(j2eebackup/j2eerestore)
 - Interstage JMSの資源のバックアップ/リストアコマンド(jmsbackup/jmsrestore)
 - CORBAサービス資源ファイルのバックアップ/リストアコマンド(odbackupsys/odrestoresys)
 - データベース連携サービスの資源のバックアップ/リストアコマンド(otsbackupsys/otsrestoresys)
 - Interstage シングル・サインオンの資源のバックアップ/リストアコマンド(ssobackup/ssorestore)
 - Interstageセットアップ資源のバックアップ/リストアコマンド(iscbbackupsys/iscrestoresys)
 - 業務構成管理機能におけるリポジトリのバックアップ/リストアコマンド(isrebackup/isreprestore)
 - Java EEのバックアップ/リストアコマンド(ijbackup/ijrestore)
 - Interstage JMXサービスの資源のバックアップ/リストアコマンド(isjmxbackup/isjmxrestore)

アクセス監査ログの記述形式の詳細につきましては、オンラインマニュアル「リファレンスマニュアル」の「アクセス監査ログファイル」を参照してください。

(2) テンプレートポリシーファイル

サーバアクセス制御用テンプレート生成コマンドで出力されたテンプレートポリシーファイルは、アクセス制御ポリシーファイルと同じ形式になっており、アクセス制御ポリシーファイルと同様にポリシー移入した後、配付して使用します。ポリシー移入したテンプレートポリシーファイルは、アクセス制御ポリシーと同様に[Systemwalker コンソール]の[セキュリティポリシー[管理]]画面において、参照・設定が可能です。

3. Systemwalkerアクセス制御ポリシーテンプレートのディレクトリ構成

Systemwalkerアクセス制御ポリシーテンプレートの公開ファイルは、圧縮されています。インストールすることなく、解凍することにより利用することができます。Systemwalkerアクセス制御ポリシーテンプレート(※)を解凍すると、systemwalker_svac_templateディレクトリ配下に、下記のファイル/ディレクトリが展開されます。

※ファイル名 : systemwalker_svac_template_yyyymmdd.exe
「yyymmdd」は、本テンプレートの公開日付です

```
[systemwalker_svac_template]
|
|--readme.txt          本書
|
|--swsvaccrtpl.exe     サーバアクセス制御用テンプレート生成コマンド
|
|--swsvaccrtpl_mw_info.ini  ミドルウェア情報ファイルのひな型
|
```

+-[policy]	出力先を指定しない場合のテンプレートポリシーファイルを出力するディレクトリ
+-[log]	トレースログ格納ディレクトリ サーバアクセス制御用テンプレート生成コマンドの動作履歴が格納されます。技術員へご連絡の際ご送付ください。
+-[etc]	設定ファイル格納ディレクトリ サーバアクセス制御用テンプレート生成コマンドが動作する際、読み込まれる設定ファイルが格納されています。ファイルの移動や編集を行わないでください。

4. Systemwalkerアクセス制御ポリシーテンプレートの適用条件

- (1) 本テンプレートの対象製品バージョン・レベル、サーバ種別
本テンプレートで出力されたテンプレートポリシーファイルは以下のいずれかの製品がインストールされている運用管理サーバに移入可能です。
- ・ Windows版
 - Systemwalker Centric Manager SE版 V13. 4. 0
 - Systemwalker Centric Manager EE版 V13. 4. 0
 - ・ Windows版 x64版
 - Systemwalker Centric Manager SE版 V13. 4. 0/V13. 4. 0A
 - Systemwalker Centric Manager EE版 V13. 4. 0/V13. 4. 0A
 - ・ Windows for Itanium版
 - Systemwalker Centric Manager SE版 V13. 4. 0
 - Systemwalker Centric Manager EE版 V13. 4. 0
 - ・ Linux版
 - Systemwalker Centric Manager SE版 V13. 4. 0/V13. 4. 0A
 - Systemwalker Centric Manager EE版 V13. 4. 0/V13. 4. 0A
 - ・ Linux x64版
 - Systemwalker Centric Manager SE版 V13. 4. 0/V13. 4. 0A
 - Systemwalker Centric Manager EE版 V13. 4. 0/V13. 4. 0A
 - Systemwalker Centric Manager GEE版 V13. 4. 0/V13. 4. 0A
 - ・ Linux for Itanium版
 - Systemwalker Centric Manager SE版 V13. 4. 0
 - Systemwalker Centric Manager EE版 V13. 4. 0
 - Systemwalker Centric Manager GEE版 V13. 4. 0
 - ・ Solaris版
 - Systemwalker Centric Manager SE版 V13. 4. 0
 - Systemwalker Centric Manager EE版 V13. 4. 0
 - Systemwalker Centric Manager GEE版 V13. 4. 0

(2) Systemwalkerアクセス制御ポリシーテンプレートの容量について

Systemwalkerアクセス制御ポリシーテンプレートのダウンロードしたファイルは圧縮データとなっています。利用前に解凍が必要です。必要なディスク容量は以下のとおりです。

インストール前の必要資源
必要ディスク容量： 1MB

- (3) サーバアクセス制御用テンプレート生成コマンドの使用条件
サーバアクセス制御用テンプレート生成コマンドは、Windows上で動作するコマンドです。出力されたテンプレートポリシーファイルを運用管理サーバ上にコピーして移入してください
- (4) 以下の条件にご留意ください。
ポリシー移入可能な実行環境
オンラインマニュアル「リファレンスマニュアル」の「swsvacpolin(サーバアクセス制御ポリシーの移入コマンド)」の「実行に必要な権限/実行環境」を参照してください。

ポリシー配付可能な実行環境
オンラインマニュアル「解説書」の「付録B OS別機能差一覧」の「セキュリティ」の「サーバアクセス制御」を参照してください。

5. Systemwalkerアクセス制御ポリシーテンプレートの利用前の作業

5. 1 swsvaccrtpl_mw_info.iniの編集

- (1) サーバアクセス制御用テンプレート生成コマンド(swsvaccrtpl)にて、ポリシー配付先サーバの種類毎のテンプレートポリシーファイルを一度に作成します。その際、swsvaccrtpl_mw_info.iniにポリシー配付先サーバ固有の情報(ポリシー名、配付先サーバOS種別、配付先Systemwalker Centric Managerのバージョン/インストール先)を設定する必要があります。以下にswsvaccrtpl_mw_info.iniの内容について説明します。swsvaccrtpl_mw_info.iniを編集してください。

[POLICYnn]セクション

サーバアクセス制御用テンプレート生成コマンドは、1度に複数のテンプレートポリシーファイルを生成することができます。セクションは、分割する切れ目をあらわします。下二桁の数字nnは、出力されるテンプレートポリシーファイル名の末尾（拡張子は除く）に付加されます。nnは、“00”～“99”の範囲にて設定してください。

NAMEキー

テンプレートポリシーファイルのポリシー名を指定します。ポリシー名の長さは、最大64バイト以内で設定してください。ポリシー名は、ASCII文字で設定してください。

OSキー

配付先サーバのOS名 (Windows/Linux) を指定します。Windowsの場合は、“WIN”を設定してください。Linuxの場合は、“LIN”を設定してください。

・ Systemwalker Centric Manager

CMGR_VERSIONキー

配付先サーバのSystemwalker Centric Manager のメジャーバージョンを指定します。
例えば、Systemwalker Centric Manager SE/EE V13.4.0の場合、“13”を設定してください。

CMGR_LEVELキー

配付先サーバのSystemwalker Centric Managerのマイナーバージョンを指定します。
例えば、Systemwalker Centric Manager SE/EE V13.4.0の場合、“4”を設定してください。

CMGR_BASEキー

配付先サーバのSystemwalker Centric Managerのインストールパスを指定します。(※)
例えば、“c:\systemwalker”にインストールされている場合、“c:\systemwalker”を設定してください。

・ Systemwalker Operation Manager

OMGR_VERSIONキー

配付先サーバのSystemwalker Operation Manager のメジャーバージョンを指定します。
例えば、Systemwalker Operation Manager SE/EE V13.4.0Aの場合、“13”を設定してください。

OMGR_LEVELキー

配付先サーバのSystemwalker Operation Managerのマイナーバージョンを指定します。
例えば、Systemwalker Operation Manager SE/EE V13.4.0Bの場合、“4”を設定してください。

OMGR_BASEキー

配付先サーバのSystemwalker Operation Managerのインストールパスを指定します。(※)
例えば、“c:\systemwalker”にインストールされている場合、“c:\systemwalker”を設定してください。

・ Symfaware Server

SYMFO_VERSIONキー

配付先サーバのSymfaware Serverのメジャーバージョンを指定します。
例えば、Symfaware Server SE/EE V10.0.1の場合“10”を設定してください。

SYMFO_LEVELキー

配付先サーバのSymfaware Serverのマイナーバージョンを指定します。
例えば、Symfaware Server SE/EE V10.0.1の場合、“0”を設定してください。

SYMFO_BASEキー

配付先サーバのSymfaware Serverのインストールパスを指定します。(※)
例えば、“c:\systemwalker”にインストールされている場合、“c:\SFWSV”を設定してください。

・ Interstage Application Server

ISAS_VERSIONキー

配付先サーバのInterstage Application Serverのメジャーバージョンを指定します。
例えば、Interstage Application Server SE/EE V9.3.0の場合、“9”を設定してください。

ISAS_LEVELキー

配付先サーバのInterstage Application Serverのマイナーバージョンを指定します。
例えば、Interstage Application Server SE/EE V9.3.0の場合、“3”を設定してください。

ISAS_BASEキー

配付先サーバのInterstage Application Serverのインストールパスを指定します。(※)
例えば、“c:\Interstage”にインストールされている場合、“c:\Interstage”を設定してください。

(※):Linuxではインストールパスは、固定のため、設定は不要です。「OS」キーにてLinuxを指定した場合、「XXXX_BASE」キーを指定しても出力されるテンプレートポリシーファイルの内容は変わりません。

(2)swsvacrtpl_mw_info.iniのサンプル
以下に、Windows/Linux用の2つのテンプレートポリシーファイルを出力するためのサンプルを記載します。

```
-----
# ポリシーセクション (POLICY00~POLICY99)
[POLICY00]

### 基本情報 ###
# ポリシー名 (ASCII)
NAME="Template for Windows"

# OS名 ("WIN" または "LIN")
OS="WIN"

### Systemwalker Centric Manager 情報 ###
#Systemwalker Centric Manager メジャーバージョン ("13"固定)
CMGR_VERSION="13"

#Systemwalker Centric Manager マイナーバージョン ("4"固定)
CMGR_LEVEL="4"

#Systemwalker Centric Manager インストール先ディレクトリ
CMGR_BASE="c:\Systemwalker"

### Systemwalker Operation Manager 情報 ###
#Systemwalker Operation Manager メジャーバージョン ("13"固定)
OMGR_VERSION="13"

#Systemwalker Operation Manager マイナーバージョン ("4"固定)
OMGR_LEVEL="4"

#Systemwalker Operation Manager インストール先ディレクトリ
OMGR_BASE="c:\Systemwalker"

### Symfoware Server 情報 ###
#Symfoware Server メジャーバージョン ("9"または"10"を指定)
SYMFO_VERSION="10"

#Symfoware Server マイナーバージョン (メジャーバージョンが"10"の場合、
#"0"固定。メジャーバージョンが"9"の場合、"1"または"2"を指定)
SYMFO_LEVEL="0"

#Symfoware Server インストール先ディレクトリ
SYMFO_BASE="c:\SFWSV"

### Interstage Application Server 情報 ###
#Interstage Application Server メジャーバージョン ("9"固定)
ISAS_VERSION="9"

#Interstage Application Server マイナーバージョン ("2"または"3"を指定)
ISAS_LEVEL="3"

#Interstage Application Server インストール先ディレクトリ
ISAS_BASE="c:\Interstage"

# ポリシーセクション (POLICY00~POLICY99)
[POLICY01]

### 基本情報 ###
# ポリシー名 (ASCII)
NAME="Template for Linux"

# OS名 ("WIN" または "LIN")
OS="LIN"

### Systemwalker Centric Manager 情報 ###
#Systemwalker Centric Manager メジャーバージョン ("13"固定)
CMGR_VERSION="13"

#Systemwalker Centric Manager マイナーバージョン ("4"固定)
CMGR_LEVEL="4"

### Systemwalker Operation Manager 情報 ###
#Systemwalker Operation Manager メジャーバージョン ("13"固定)
```

```
OMGR_VERSION="13"
```

```
#Systemwalker Operation Manager マイナーバージョン ("4"固定)  
OMGR_LEVEL="4"
```

```
### Symfoware Server 情報 ###
```

```
#Symfoware Server メジャーバージョン ("9"または"10"を指定)  
SYMFO_VERSION="10"
```

```
#Symfoware Server マイナーバージョン (メジャーバージョンが"10"の場合、  
#"0"固定。メジャーバージョンが"9"の場合、"1"または"2"を指定)  
SYMFO_LEVEL="0"
```

```
### Interstage Application Server 情報 ###
```

```
#Interstage Application Server メジャーバージョン ("9"固定)  
ISAS_VERSION="9"
```

```
#Interstage Application Server マイナーバージョン ("2"または"3"を指定)  
ISAS_LEVEL="3"
```

注) 行の先頭文字が '#' の場合、コメントとして処理されます。

6. サーバアクセス制御用テンプレート生成コマンドの使用方法

6. 1. テンプレートポリシーファイルの生成

サーバアクセス制御用テンプレート生成コマンド(swsvacrtpl)に5項で作成したswsvacrtpl_mw_info.iniを指定し、テンプレートポリシーファイルを生成します。
下記のコマンドを実行してください。

```
swsvacrtpl -f <5項で作成したswsvacrtpl_mw_info.ini>  
-o <テンプレートポリシーファイル出力先ディレクトリ>
```

補足：以下にコマンドのオプションについて説明します。

- f：ミドルウェアのインストール情報を記述したswsvacrtpl_mw_info.iniのフルパスを指定してください。
- o：テンプレートポリシーファイルが作成されるディレクトリをフルパスで指定してください。
指定されたディレクトリが存在しない場合、自動的にディレクトリが生成されます。
本オプションを省略した場合、本コマンドと同じディレクトリにある"policy"ディレクトリにテンプレートポリシーファイルが出力されます。

以下に実行例を記載します。

```
swsvacrtpl -f c:\systemwalker_svac_template\swsvacrtpl_mw_info.ini  
-o c:\systemwalker_svac_template\policy
```

成功すると下記のメッセージが表示されテンプレートポリシーファイル出力先ディレクトリにテンプレートポリシーファイルが出力されます。

```
Succeeded to create a template policy file for Access Control. :  
テンプレートポリシーファイル名
```

注1) 解凍したSystemwalkerアクセス制御ポリシーテンプレート環境のディレクトリ/ファイル構成の変更を行わないでください。

注2) テンプレートポリシーファイル出力ディレクトリ配下にファイルが存在する場合、ファイルを削除し出力ディレクトリ配下を空にしてください。

6. 2. テンプレートポリシーファイルの移入

6. 2. 1 既存ポリシーと統合せず移入する場合

6. 1項で出力されたテンプレートポリシーファイルのアクセス制御ポリシーを配付するために運用管理サーバへ移入(※1)してください。

6. 2. 2 既存ポリシーと統合して移入する場合

- (1) 既存のアクセス制御ポリシーとテンプレートポリシーファイルを統合する場合は、事前にポリシー移出コマンド(swsvacpolout)を実行して、追加先となるポリシーファイルを移出してください。(※2)
- (2) 移出した1のアクセス制御ポリシーファイルの末尾に、6. 1項で出力されたテンプレートポリシーファイルの2行目以降(※3)をコピーしてください。
- (3) 運用管理サーバへ移入してください。(※1)

※1：アクセス制御ポリシーファイルの移入方法については、以下に示すオンラインマニュアルを参照してください。
オンラインマニュアル「リファレンスマニュアル」の「swsvacpolin(サーバ

アクセス制御ポリシーの移入コマンド)」を参照してください。

※2: アクセス制御ポリシーファイルの移出方法については、以下に示すオンラインマニュアルを参照してください。
オンラインマニュアル「リファレンスマニュアル」の「swsvacpolout(サーバアクセス制御ポリシーの移出コマンド)」を参照してください。

※3: 1行目("2.0", "W")は、バージョンとOS種別を表します。統合するアクセス制御ポリシーと重複しているため、削除した後統合してください。

注1) Systemwalker Centric Manager V13.3.0で作成したアクセス制御ポリシーは、Systemwalker Centric Manager V13.4.0の運用管理サーバへ移入することはできません。

注2) Solarisでポリシー移入を行う場合、swsvacpolinを実行する前に以下のように環境変数を設定する必要があります。

```
LD_LIBRARY_PATH=$LD_LIBRARY_PATH:/opt/systemwalker/lib
export LD_LIBRARY_PATH
```

6. 3. アクセス制御ポリシーの配付方法

6. 2項で移入したアクセス制御ポリシーを配付します。

アクセス制御ポリシーを配付するにあたり、ポリシーグループを作成し、ポリシーグループにアクセス制御ポリシーを設定した上で、ポリシーグループを配付します。操作方法については、以下に示すオンラインマニュアルを参照してください。
オンラインマニュアル「使用手引書 セキュリティ編」の「セキュリティポリシーを設定する手順」を参照してください。

6. 4. アクセス監査ログの参照方法

出力されたアクセス監査ログは、サーバアクセス制御機能により保護されているため直接参照することはできません。アクセス監査ログを参照するには、運用管理サーバに監査ログを収集する必要があります。

アクセス監査ログの収集方法の詳細については、オンラインマニュアル「使用手引書 セキュリティ編」の「監査ログを収集する」を参照してください。

7. 留意事項

7. 1 アクセス制御ポリシーと統合する場合の留意事項

2つのポリシーを統合する場合、競合するルールが存在しないことを確認してください。テンプレートポリシーファイルは、保護対象種別がプロセスの以下の制御対象に対するルールを含んでいます。

(1) Windowsの場合

- Systemwalker Centric Manager
 - サービス/デーモンの起動/停止コマンド(scentricmgr.exe/pcentricmgr.exe)
 - バックアップ/リストアコマンド(mpbkc.exe/mpenvset.exe/mprsc.exe/premprs.exe)
- Systemwalker Operation Manager
 - サービス/デーモンの起動/停止コマンド(soperationmgr.exe/poperationmgr.exe)
 - バックアップ/リストアコマンド(mpbko.exe/mprso.exe)
- Symfoware Server
 - Symfoware/RDBの起動/停止コマンド(rdbstart.exe/rdbstop.exe)
 - バックアップ/リストアコマンド(rdbdmp.exe/rdbrcv.exe)
 - データベースのデータのファイルへの出力コマンド(rdbunl.exe)
 - 検索結果のファイルへの出力コマンド(rdbunlx.exe/rdbunlsql.exe)
- Interstage Application Server
 - サービス/デーモンの起動/停止コマンド(isstart.exe/isstop.exe)
 - ワークユニットの起動/停止コマンド(isstartwu.exe/isstartwu.exe)
 - イベントサービスの起動/停止用コマンド(esstart.exe/esstop.exe)
 - Webサーバサービスの起動/停止用コマンド(ihsstart.exe/ihsstop.exe)
 - Java EEサービスの起動/停止用コマンド(ijdasstart.exe/ijdasstop.exe)
 - ijnastart.exe/ijnastop.exe/imqbrokerd.exe)
 - Interstage管理コンソール用Servletサービスの起動/停止(jssvstart.exe/jssvstop.exe)
 - OTSサービス起動(otsmnger.exe)
 - IJServerの資源のバックアップ/リストアコマンド(ijsbackup.exe/ijrestore.exe)
 - イベントサービスの資源のバックアップ/リストアコマンド(esbackupsys.exe/esrestoresys.exe)
 - Interstage HTTP Serverの資源のバックアップ/リストアコマンド

- (ihsbackup.exe/ihsrestore.exe)
- Interstage ディレクトリサービスの資源のバックアップ/リストアコマンド(irepbacksys.exe/ireprestsystsys.exe)
- J2EE共通資源のバックアップ/リストアコマンド(j2eebackup.exe/j2eerestore.exe)
- Interstage JMSの資源のバックアップ/リストアコマンド(jmsbackup.exe/jmsrestore.exe)
- CORBAサービス資源ファイルのバックアップ/リストアコマンド(odbackupsys.exe/odrestoresys.exe)
- データベース連携サービスの資源のバックアップ/リストアコマンド(otsbackupsys.exe/otsrestoresys.exe)
- Interstage シングル・サインオンの資源のバックアップ/リストアコマンド(ssobackup.exe/ssorestore.exe)
- Interstageセットアップ資源のバックアップ/リストアコマンド(iscbbackupsys.exe/iscrestoresys.exe)
- Interstage管理コンソールの資源のバックアップ/リストアコマンド(isguibackup.bat/isguirestore.bat)
- 業務構成管理機能におけるリポジトリのバックアップ/リストアコマンド(isrepbackup.bat/isreprestore.bat)
- Java EEのバックアップ/リストアコマンド(ijbackup.bat/ijrestore.bat)
- Interstage JMXサービスの資源のバックアップ/リストアコマンド(isjmxbackup.bat/isjmxrestore.bat)

(2)Linuxの場合

- Systemwalker Centric Manager
 - サービス/デーモンの起動/停止コマンド(scentricmgr/pcentricmgr)
 - バックアップ/リストアコマンド(mpbkc/mprsc/premprs)
- Systemwalker Operation Manager
 - サービス/デーモンの起動/停止コマンド(soperationmgr/poperationmgr)
 - バックアップ/リストアコマンド(mpbko/mprso)
- Symfoware Server
 - Symfoware/RDBの起動/停止コマンド(rdbstart/rdbstop)
 - バックアップ/リストアコマンド(rdbdmp/rdbrcv)
 - データベースのデータのファイルへの出力コマンド(rdbunl)
 - 検索結果のファイルへの出力コマンド(rdbunlx/rdbunlsql)
- Interstage Application Server
 - Interstageの起動/停止用コマンド(isstart/isstop)
 - ワークユニットの起動/停止コマンド(isstartwu/isstartwu)
 - Fujitsu Enablerの起動コマンド(enablerstart)
 - イベントサービスの起動/停止用コマンド(esstart/esstop)
 - Webサーバサービスの起動/停止用コマンド(ihsstart/ihsstop)
 - Interstage管理コンソールを使用するためのサービスの起動/停止コマンド(ismngconsolestart/ismngconsolestop)
 - リポジトリの起動/停止(irespstart/irepstop)
 - Java EEサービスの起動/停止用コマンド(ijdasstart/ijdasstop
ijnastart/ijnastop/imqbrokerd)
 - Interstage JMXサービスの起動/停止コマンド(isjmxstart/isjmxstop)
 - Interstage管理コンソール用Servletサービスの起動/停止(jssvstart/jssvstop)
 - IJServerの資源のバックアップ/リストアコマンド(ijsbackup/ijrestore)
 - イベントサービスの資源のバックアップ/リストアコマンド(esbackupsys/esrestoresys)
 - Interstage HTTP Serverの資源のバックアップ/リストアコマンド(ihsbackup/ihsrestore)
 - Interstage ディレクトリサービスの資源のバックアップ/リストアコマンド(irepbacksys/ireprestsystsys)
 - J2EE共通資源のバックアップ/リストアコマンド(j2eebackup/j2eerestore)
 - Interstage JMSの資源のバックアップ/リストアコマンド(jmsbackup/jmsrestore)
 - CORBAサービス資源ファイルのバックアップ/リストアコマンド(odbackupsys/odrestoresys)
 - データベース連携サービスの資源のバックアップ/リストアコマンド(otsbackupsys/otsrestoresys)
 - Interstage シングル・サインオンの資源のバックアップ/リストアコマンド(ssobackup/ssorestore)
 - Interstageセットアップ資源のバックアップ/リストアコマンド(iscbbackupsys/iscrestoresys)
 - 業務構成管理機能におけるリポジトリのバックアップ/リストアコマンド(isrepbackup/isreprestore)
 - Java EEのバックアップ/リストアコマンド(ijbackup/ijrestore)
 - Interstage JMXサービスの資源のバックアップ/リストアコマンド(isjmxbackup/isjmxrestore)

ポリシーファイルの形式の詳細については、「リファレンスマニュアル」の「サーバアクセス制御アクセス制御ポリシーファイル」を参照してください。

8. Systemwalkerテンプレートの削除方法

systemwalker_svac_templateディレクトリ配下のファイルを削除してください。

9. エラーメッセージ

サーバアクセス制御用テンプレート生成コマンド実行時

- A parameter error has occurred. : %1 %2

[説明]

ミドルウェア情報ファイルのパラメタに誤りがあります。

%1 : セクション名

%2 : キー名

[対処方法]

ミドルウェア情報ファイルに記述しているOS名・ミドルウェアのバージョン/レベルを確認し、再度コマンドを実行してください。

- A file format error has occurred. : %1 %2

[説明]

ミドルウェア情報ファイルの書式に誤りがあります。

%1 : セクション名

%2 : キー名

誤った名前のセクションが存在する場合など、キー名の情報が出力されない場合もあります。

[対処方法]

ミドルウェア情報ファイルに記述している情報を確認し、再度コマンドを実行してください。

- Failed to make a directory. : %1

[説明]

ディレクトリの作成に失敗しました。

%1 : ディレクトリ名

[対処方法]

ディレクトリの状態を確認し、再度コマンドを実行してください。

- The output directory is not empty. : %1

[説明]

テンプレートポリシーファイル出力ディレクトリが空ではありません。

%1 : ディレクトリ名。

[対処方法]

テンプレートポリシーファイル出力ディレクトリを空にして、再度コマンドを実行してください。

- An IO error has occurred. : %1

[説明]

ファイル、ディレクトリの入出力処理でエラーが発生しました。

%1 : ファイル名、または、ディレクトリ名。

[対処方法]

以下の項目を確認し、再度コマンドを実行してください。

- メッセージに表示されたファイル、ディレクトリ、または、その親ディレクトリのアクセス権が正しく設定されていること。
- ディスク装置などのハードウェアが正常に動作していること。

- A System error has occurred.

[説明]

システムのAPIで異常が発生しました。

[対処方法]

システムが正常に動作していない可能性があるため、システムの再起動を実施し、再度コマンドを実行してください。

システム再起動後も再現する場合、本コマンドのlogディレクトリにあるファイルを採取し、技術員に連絡してください。

- An internal error has occurred.

[説明]

内部異常が発生しました。

[対処方法]

Systemwalkerアクセス制御ポリシーテンプレート環境(ディレクトリ/ファイル構成)を確認し、再度コマンドを実行してください。

再現する場合、本コマンドのlogディレクトリにあるファイルを採取し、技術員に連絡してください。